

2学期終業式 校長講話

「サンタはいるのか」

おはようございます。75日間の長かった2学期も今日で終了します。今学期を振り返ると、9月には文化部発表会、生徒会選挙、10月には新人戦、合唱コンクール、11月には持久走大会や1・2年生のフィールドワークなどの行事があり、それぞれみなさんの素晴らしい活躍や頑張りを目にすることが出来ました。そしていつも私が言っていることですが、行事の特にない60数日の普段の日々がありました。1学期の終業式では自分たちの生活を振り返って「こころの通知票」をつけてみようという話を9月の2学期始業式では学校や仲間のために自治の力を発揮しようと「今、君に何が出来るか」という話をしました。

学期末ですから、みなさんはもう一度自分たちの生活を振り返って頑張ったところ、改善すべきところを考えて、3学期に向けた目標を立ててください。

さて2学期の終業式に当たり今日は「サンタはいるのか」というお話をします。

結論から言うとサンタはいます。私は実際に会ったことがあります。ずいぶん前ですがフィンランドという国に行った時のことです。その時は夏だったのですが、湖の周りを短パンにTシャツの白いひげのおじいさんがジョギングをしていて、行きかう人がうれしそうに声掛けをしていました。元気に返事をしているおじいさんを見て不思議に思ったので、そばにいたガイドさんに聞いた

ら「彼はサンタだよ。冬場に向けてトレーニングしているんだ」とごく当たり前のように答えました。私はびっくりしたのですが、北欧のフィンランドには公認のサンタがたくさんいるのだそうです。

みなさんはサンタはいると思いますか。今日はクリスマスイブです。日本人はキリスト教徒でなくてもクリスマスを楽しむ人が多いですよ。今夜みなさんの家にはサンタはやって来るでしょうか。小さい頃サンタさんをお願いをするとあら不思議、ほしかったプレゼントがツリーの下に・・・なんて経験をした人も多いと思います。大きくなるにつれていつの間にか「サンタなんていないよ」なんて思っていないですか。

サンタはいます。でも目に見えないことが多いのです。本当にサンタクロースを見た人は、めったにいないと思いますが、サンタは赤い服を着た白ひげのおじさんということではなく実は人の優しさや思いやりという目に見えないものだとなれば、世の中には確実に存在します。親やおじいちゃんおばあちゃんが子どもや孫を思う気持ち、その逆に子が親を気遣う気持ち・・・

みなさんがもっと大きくなって好きな人や大切に思う人が出来た時、あるいは、自分の子どもが出来た時にみなさんがサンタになる日が来るかもしれません。冬休みはクリスマスやお正月など家族で過ごす日が多くあると思います。ぜひ温かな気持ちを持って冬休みを元気に過ごしてください。3年生は受験に向けて最後の追い込み、頑張ってください。また新年1月8日に会いましょう。

終わります。